

広報 サイレン

編集
釧路北部消防事務組合
広報委員会

平成31年4月1日発行

消防本部 (015)482-3276
弟子屈消防署 (015)482-2073
標茶消防署 (015)485-2021
鶴居消防署 (0154)64-2344
川湯支署 (015)483-2216

大規模災害に備え、消防力の増強!緊急消防援助隊登録車両配備!



鶴居/小型動力ポンプ付水槽車



標茶/指令車

鶴居消防署では、平成元年に配備し約30年間活躍してきた小型動力ポンプ付き水槽車が老朽化のため更新となり、平成31年1月11日より運用を開始しています。新しい水槽車はエンジン出力や消火用ポンプ性能が向上したことにより、現場到着までの時間短縮や放水能力が大幅に向上したほか、照明用の投光器にはLEDのトリプルライトを採用し、3分割されたパネルにより多方向を同時に照らすことが可能となり、夜間活動における隊員の安全確保にも配慮されています。また、車両は10,000Lの水を積載し、管内におけるあらゆる火災での消火活動に加え、断水した地区の重要施設や住民への生活用水の給水活動などで活躍することとなります。さらにこの車両は緊急消防援助隊の車両としても登録され、大規模災害が発生した場合、要請により被災地へ派遣されるなど、今後、さらなる活躍が見込まれます。

標茶消防署においても平成30年12月に指令車を更新しました。災害現場の出動や非常時には人員だけでなく、多くの消防資機材も積載し搬送することができ、様々な場面で活用が期待できます。

北海道消防協会釧路地方支部 女性消防団員研修会 (標茶町)

平成30年5月27日、標茶町において釧路管内女性消防団員研修会が開催されました。この研修会は北海道消防協会釧路地方支部の主催で、女性消防団員の資質向上を目的に毎年開催されており、今回は釧路管内の女性消防団員総勢52名が集まり研修



小隊訓練の様子



行進間訓練の様子

が行われました。

研修では規律訓練として行進間訓練を行い、開催地である標茶消防団女性消防部の指導により隊形変換の訓練が行われました。隊形変換を含む行進間訓練は今回が初の試みであり、訓練開始当初は参加団員に戸惑いもありましたが、訓練の成果が表れ各小隊が整った行進間を行っていました。

平成30年度 消防アラカルト

平成31年 消防出初式

釧路北部消防事務組合年頭の恒例行事である消防出初式が平成31年1月4日弟子屈、5日標茶・鶴居、6日川湯において行われました。各署で観閲式、分列行進が行われた後に、長年消防に尽力した消防団員が表彰されました。また、ラッパ隊による演奏、伝統のはしご乗りやまとい振りも披露され、沿道の観客より多くの声援が送られました。本年の無火災及び住民の安心・安全を願い、消防職団員一同団結を固め更なる職務の遂行を誓いました。



弟子屈



標茶



川湯



鶴居

第44回 釧路北部消防事務組合総合演習



はしご車による救助活動の様子

平成30年5月20日、第44回釧路北部消防事務組合総合演習が弟子屈町で開催しました。組合内から職団員約190名、消防車両合計8台が集結し、観閲式や分列行進、火災防ぎょ訓練が行われました。火災防ぎょ訓練では逃げ遅れが1名居る建物火災を想定し、はしご車による要救助者の救出、出火建物への放水を行い、団員の技術の向上と士気高揚を図るとともに、3町村の消防団の連携を高めることができました。

北海道消防防災航空隊との 合同防災訓練実施

平成30年8月26日、鶴居村の下幌呂小学校で住民参加型の鶴居村総合防災訓練が行われました。この訓練では、大規模災害に備え、避難所の開設や炊き出し訓練、関係機関との緊急体制の確立を図るため北海道消防防災航空隊と連携し、主要幹線道路が寸断した際の重症傷病者の搬送訓練を実施しました。

参加した住民は防災に対する意識の向上が図られました。



防災ヘリとの訓練の様子

第41回 救急救命士 国家試験合格者紹介



氏名 大越慎太郎
拝命 平成18年
勤務先 標茶消防署



氏名 石井 圭
拝命 平成23年
勤務先 鶴居消防署



氏名 草野 陽貴
年齢 21歳
出身地 釧路町
勤務先 弟子屈消防署



氏名 工藤 瑞希
年齢 19歳
出身地 弟子屈町
勤務先 弟子屈消防署



氏名 渋谷 瑛一
年齢 19歳
出身地 鶴居村
勤務先 鶴居消防署

平成30年度採用職員紹介

釧路北部消防事務組合 職員数

平成31年1月1日現在

所 属	職員数	内救命士
消防本部	7	4
弟子屈	31	19
標 茶	26	12
鶴 居	15	10
合計	79	45

北海道全域がブラックアウトに! 災害時の備えについて

平成30年9月6日に北海道胆振東部地震が発生し、震源地に近い地域では大きな被害に見舞われました。また、この地震の影響により北海道全域におよぶ大規模停電（ブラックアウト）が発生し、私たちにとって初めての経験となりました。この災害により、近年、多種多様化する災害に対応するための備えが必要だと気づかされたことと思います。

皆さんのご家庭では災害時に必要最低限の非常持ち出し品は備えていますか？今回の災害を機に、地震や火災などの避難が必要なときのためにも「非常持ち出し品」のイラストを参考に準備してみましょう。用意した持ち出し品は、いざというときに使えるよう日頃から使用方法の確認や点検をしておきましょう。また、携帯電話が使用できない場合に備え、家族間で集合する避難所の確認や掲示板等の活用について検討して下さい。



〈参考〉

非常持ち出し品

貴重品 緊急IDカード 現金 健康保険証 身分証明書 母子健康手帳 銀行の口座番号・生命保険契約番号など	便利品など 防災ずきんまたはヘルメット 懐中電灯 予備の電池 笛やブザー(音を出して思いつく場所を知らせるもの) マスク ビニール袋 毛布 スリッパ 雨具 レインコート	情報収集用品 携帯電話 予備の電池 家族の写真(はぐれた時の確認用) 小銭(公共電話用に10円玉・100円玉) 筆記用品 非常用携帯電話充電器
食料など 非常食 飲料水 TISSUE ディッシュペーパー その他(保冷剤用・高齢者用など)	清潔・健康のためのもの 常備薬 救急セット タオル お薬手帳 着替え 下着 生理用品	その他 予備の眼鏡、杖など自分の生活にかかせないもの

鶴居消防団現地教育訓練 車両破壊救助訓練

近年、想定外の大規模な自然災害や地震が日本各地で発生し多くの被害が出ており、大規模災害時の対応、救助救出活動における知識・技術の習得が以前にも増して必要となってきております。それに伴い平成30年10月9日、鶴居消防団員約40名が、北海道消防学校から講師を招き、「震災現場における救助活動」と題した講義と「倒壊家屋等からの救助訓練」を実施しました。



車両破壊訓練の様子



◀教育訓練座学の様子

倒壊家屋からの救助訓練の様子▶

消防職員意見発表

平成31年1月18日、北見市にて第43回道東地区消防職員意見発表会が開催され、標茶消防署の熊谷雄斗消防士が釧路管内代表として出場しました。演題は「防災のスリートップ」というもので「災害弱者に対する協力員を根強くするために、防災計画・教育を充実させ、そのメリットは町や個人に還元される」という内容で発表し奨励賞を受賞しました。今回の発表を活かし地域防災への活動が期待されます。



標茶消防署 熊谷雄斗消防士

全道消防救助技術訓練指導会

平成30年7月21日、札幌市消防学校にて第47回全道消防救助技術訓練指導会が開催され、全道から消防隊員約250名が参加しました。平成30年度は鶴居消防署から「ロープブリッジ渡過の部」1名、「ほふく救出の部」に1チームが出場しました。



結果は惜しくも全国大会出場にはいたりませんでしたが、ロープブリッジ渡過の部で吉田将也消防士が2年連続で大会長表彰を受賞しました。



釧路北部消防事務組合

ホームページ <http://kushirohokubu.com/>
 フェイスブック <https://www.facebook.com/kushirohokubu/>
 ホームページのQRコードはコチラ▶



消防予算の執行状況

平成29年度 決算の概要

歳入 1,301,948,403円

歳出 1,287,610,145円



平成29年度釧路北部消防事務組合の歳入歳出決算額は上記のとおりであり、主な内容は次のとおりです。

歳入 歳入予算額1,302,643,000円に対して決算額は1,301,948,403円となっており、歳入の主たる財源は、構成町村からの負担金850,377,000円で全体の65.3%を占め、組合債が86,600,000円で6.7%、国庫支出金が18,629,000円で1.4%、道支出金が1,942,000円で0.2%、諸収入が332,540,902円で25.5%、他は手数料・繰越金・財産収入等で11,859,501円、0.9%となっています。

歳出 歳出予算額は歳入予算額と同額であり、決算額は1,287,610,145円で98.8%の執行率となっています。主な内容は消防署、消防団、消防施設、設備等に要した経費が948,612,292円で全体の73.7%を占め、公債費（庁舎建設等に係る起債償還金）269,015,832円で20.9%、さらに消防本部の運営に要した経費等が69,982,021円で5.4%となっており、歳入歳出差引不用額14,338,258円は平成30年度予算へ繰越されました。なお、弟子屈消防庁舎の新築工事は、外構工事、無線移設工事、旧庁舎解体工事等を終了し、すべての工事が完了いたしました。各項目及び構成町村別の決算内容は次の表のとおりです。

平成29年度 歳入決算費目別内訳

(単位：千円・%)

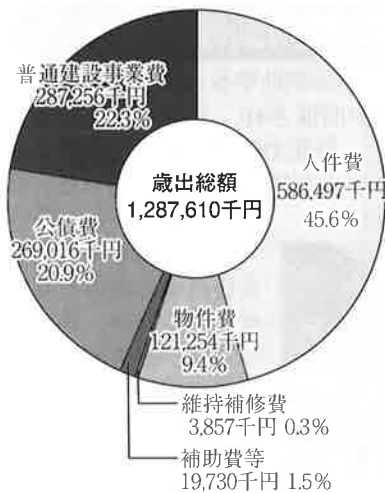
費目	区分	予算額	決算額	収入率
分担金及び負担金		850,377	850,377	100.0
内訳	弟子屈町	380,932	380,932	100.0
	標茶町	269,820	269,820	100.0
	鶴居村	199,625	199,625	100.0
	使用料及び手数料	267	412	154.3
国庫支出金		18,629	18,629	100.0
道支出金		1,942	1,942	100.0
財産収入		2,122	2,124	100.1
繰越金		9,323	9,323	100.0
諸収入		333,383	332,541	99.7
組合債		86,600	86,600	100.0
計		1,302,643	1,301,948	99.9

平成29年度 歳出決算費目別内訳

(単位：千円・%)

費目	区分	予算額	決算額	執行率
議会費		591	545	92.2
総務管理費		70,251	68,636	97.7
監査委員費		836	801	95.8
消防署費		624,904	615,826	98.5
消防団費		57,302	53,756	93.8
消防施設費		279,364	279,030	99.9
公債費		269,095	269,016	100.0
予備費		300	0	0.0
計		1,302,643	1,287,610	98.8

平成29年度 歳入決算費目別内訳



平成29年度の主な事業

(単位：千円)

事業名	事業費	施設・設備・配置場所
災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材購入事業	38,232	弟子屈消防署・高規格救急自動車・積載用高度救命処置用資機材
弟子屈消防庁舎建設事業	179,872	道路拡張工事に伴う消防庁舎新築工事 ①旧庁舎アスベスト調査 1,180 ②外構路盤・舗装工事 97,200 ③外構電気工事 15,660 ④無線移設工事 22,118 ⑤旧庁舎解体工事 31,709 ⑥庁舎追加工事 1,404 ⑦新庁舎備品 10,601
川湯消防支署屋根改修工事	2,312	川湯消防庁舎屋根葺き替え工事
川湯消防庁舎ボイラー取替工事	2,765	川湯消防庁舎暖房ボイラー取替工事
空気ボンベ充填機購入事業	5,389	標茶消防署・空気ボンベ充填機
消防団員装備品整備事業	4,387	標茶消防団整備 防火帽、防火長靴、防護メガネ、ヘッドライト
高度救命資機材購入事業 (石油貯蔵施設立地対策交付金事業)	4,244	鶴居消防署 自動体外式除細動器
上幌呂地区耐震性貯水槽建設事業	9,526	鶴居村字幌呂原野第1基線47-4 60㎡型耐震性、FRP二次製品
高規格救急自動車購入事業	33,837	鶴居消防署・JA寄贈救急自動車機装・積載用高度救命用資機材一式
第2分団詰所外壁補修工事	2,667	鶴居村幌呂西3丁目13番地 分団詰所外壁補修工事
釧路北部消防事務組合財務会計システム導入及び新地方公会計導入支援業務事業	4,025	消防本部・固定資産台帳の整備、財務会計システムを導入し公会計に必要な財務書類の整備実施
計	287,256	

平成30年 弟子屈町・標茶町・鶴居村の火災概要

建物火災8件、車両火災5件、野火2件!



▶平成30年中の火災発生状況と前年の対比表

平成30年1月から12月中の弟子屈町・標茶町・鶴居村管内における火災件数は前年に比べ2件増加の15件となっております。平成30年は建物火災の件数は昨年より2件減少しましたが、車両火災が2件増加し、さらに2件の野火が発生しています。火災を未然に防ぐため火気の取り扱いに十分注意して大切な生命・財産を守りましょう。

年別(平成)	区分	総出火件数(件)	建物火災件数(件)	車両火災件数(件)	その他の件数(件)	焼 損 面 積 等			死傷者数(人)		り 災 世帯数(世帯)	損害額(千円)
						建 物 (㎡)	車 両 (台)	そ の 他	死 者	負 傷 者		
30年中	弟子屈町	6	1	4	1	床 15 表 15	5	188a	0	0	0	1,904
	標 茶 町	7	5	1	1	床 1,267 表 75	1	94a	0	1	2	20,378
	鶴 居 村	2	2	0	0	床 608	0	0	0	1	0	9,502
	計	15	8	5	2	床 1,890 表 90	6	282a	0	2	2	31,784
29年中	弟子屈町	6	5	1	0	94	1	0	0	0	2	2,005
	標 茶 町	6	5	1	0	1,202	1	0	0	0	1	28,483
	鶴 居 村	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1,129
	計	13	10	3	0	1,296	3	0	0	0	3	31,617

平成30年中の救急出動件数は1,027件!ドクターヘリ出動54件

平成30年中における救急出場件数は1,027件で前年に比較すると35件の増加となり、搬送人員は986人で前年よりも5人増加となっています。このことは、弟子屈町・標茶町・鶴居村管内で1日当たり約2.8件の救急事故が発生し、町村民約18人に1人が救急隊によって搬送されていることとなります。また、搬送人員を事故種別で見ると、急病477人、転院搬送290人、一般負傷127人で、この3種別が上位を占めており、その他(火災・水難・労働災害・運動競技・交通事故・自損行為・加害・その他)92人となっています。また道東ドクターヘリの運航状況については平成30年中の総出動件数は335件、当組合管内では出動54件、ドクターヘリでの搬送は48人となっています。



▶救急出動件数及び搬送人員の推移

	30年救急出動件数 (29年救急出動件数)		30年搬送人員 (29年搬送人員)			30年ドクターヘリ出動件数 (29年出動件数) ※ドクターヘリが着陸し活動した件数		30年ドクターヘリ搬送人員 (29年搬送人員)	
		合計 1,027件 (992件)		合計 986人 (951人)			合計 54件 (56件)		合計 48人 (45人)
弟子屈町	527件 (485件)		516人 (471人)		弟子屈町	24件 (25件)		21人 (22人)	
標 茶 町	349件 (361件)		333人 (342人)		標 茶 町	12件 (18件)		11人 (13人)	
鶴 居 村	151件 (146件)		137人 (138人)		鶴 居 村	18件 (13件)		16人 (10人)	

発達した低気圧により発生した 大雨・融雪による被害 火災の発生も!

平成30年3月9日に発達した低気圧が通過したため、釧路管内においても記録的な大雨に見舞われました。また暴風雨と気温の上昇に伴う融雪により、釧路川では氾濫危険水位を越えたため、内水氾濫や住宅の床上・床下浸水など大きな被害がでました。この大雨による降水量は弟子屈、標茶、鶴居で3月の観測としては統計開始以降最も多い記録となりました。標茶町は「避難指示(緊急)」、弟子屈町は「避難勧告」が発令され、災害対策本部と関係機関による連携をもとに被害の対策にあたりました。また、倉庫内に保管していた石灰が水に濡れ、化学反応を起こし発熱したことが原因による火災も発生しました。



【標茶町】
内水氾濫による釧路川増水時
排水の様子



【鶴居村】
冠水被害の様子



【弟子屈町】
冠水地区の住民を救助する様子

Topics

トピックス



標茶消防秋季演習

平成30年10月13日、標茶町開発センターで平成30年度標茶消防秋季演習が行われ消防戦団員82名が訓練に参加しました。この演習は毎年行われ、消防戦・団員の士気向上と、地域住民の防火思想及び災害に対する意識の高揚を図ることを目的としています。訓練は建物火災を想定した模擬火災訓練で、火災が発生した建物内への進入、車両の連携や給水、放水による消火を同時に行い、火災防ぎょについて再確認するとともに、火災予防への決意を新たにしました。

火災防ぎょ訓練

放水前移動の様子

標茶



整列隊形の様子

鶴居消防団長 櫻橋 敏夫氏 勇退

鶴居消防団長、北海道消防協会副会長としてご活躍されました櫻橋敏夫氏が48年勤続を経て、平成30年9月30日付で職を退かれました。

氏は、多年にわたる消防への功労を称えられ消防庁長官功労章、北海道消防協会栄光章、安全功労者総務大臣表彰、そして内閣総理大臣より内閣総理大臣表彰を授与されるなど様々な表彰を受章しております。



櫻橋敏夫 団長

消防団長となつてからは、災害時に地域の拠点施設となる消防団詰所の建設と災害資器材の充実強化、さらに地域の人口動態の変化や地域住民の高齢化に伴う消防団組織の改編に尽力し、女性消防部及び下幌呂消防部を発足させ鶴居村の強固な防災体制を構築させるなど、多大な功績を残されました。

防火スポーツ大会



(救命講習会の様子) 弟子屈パレーボール大会

鶴居ゲートボール大会



弟子屈・川湯・鶴居



川湯パークゴルフ大会

弟子屈・川湯・鶴居の各地区で防火スポーツ大会が開催しました。この大会は、防火意識の高揚、健康促進、地域住民の親睦を深める事などを目的としています。競技に併せて消火器の取扱訓練や住宅用火災警報器の説明、AED（自動体外式除細動器）の説明会を行い、地域住民と共に防火意識を高めました。

標茶 炊き出し訓練の様子



防火クラブの活動



弟子屈 街頭広報の様子

弟子屈・標茶

弟子屈婦人防火クラブ・標茶女性防火クラブでは、街頭広報、炊き出し訓練、防火訪問、視察研修、救急講習など多岐にわたる活動を毎年行っています。この活動を通してクラブ員の火災予防に関する知識取得と共に、地域への防火普及啓発活動に大きく貢献しています。

第5回消防キッズフェア



子どもたちと揚げたこのほり



鶴居



消火器体験の様子

平成30年4月29日、「第5回消防キッズフェア」を盛大に開催しました。当日は天候にも恵まれ、親子連れ約120人が来場する中、開会セレモニーでは40匹のこのほりに防火の願いを込め、子どもたちと一緒に力を合わせて揚げることができました。会場内では、訓練用消火器や煙ハウスなどの体験コーナーや弟子屈消防署の協力によるはしご車の搭乗体験が人気を博していました。また、消防〇×クイズや緑日コーナー、防災展示コーナーなどを通して子どもたちに楽しく消防や防火について学んでもらうことができました。

今回のキッズフェアの来場者には、「つるぼー」のイラスト入りエコバックを配布しました。

女性消防団員防火点検



標茶女性消防部

標茶・鶴居



鶴居女性消防部

標茶・鶴居では、女性消防団員による、高齢者世帯を対象とした防火点検を実施しました。火を使用する際の注意点や困っていることなどを聞いたり対話を交えて指導しました。女性特有の柔らかな対応は地域に安心安全を与え、また毎年実施することで地域情報の更新も図られます。

放水体験の様子



第5回かわゆ消防開放日

川湯



はしご車搭乗体験の様子

平成30年9月23日、川湯支署にて第5回かわゆ消防開放日を開催しました。例年実施している展示・体験コーナーの他、川湯ばやし保存会による太鼓、わんぱくダンスクラブによるダンスが披露されました。また今年から新たに濃煙体験コーナーを新設し、火災時の煙の怖さを知ってもらうことができました。

磯分内少年消防クラブ活動

標茶

指紋採取体験の様子



平成30年度は、火災予防広報や歳末火の用心巡回、視察研修、火災や救急についての勉強会を行い、地域の防火活動や知識の向上に一生懸命取り組みました。視察研修では弟子屈警察署と弟子屈消防署へ行き、普段体験したり見ることのないものにクラブ員は興味津々でした。

第28回防火祭

標茶

平成30年7月22日、標茶町駒ヶ丘公園にて「子どもの夢を育てる祭り」に併せ「第28回防火祭」を開催しました。会場では、毎年大人気のミニ消防車試乗の他、ダンボール迷路、新たにちびっこレスキュー体験を行いました。来場者は途絶えることなく、会場を沸かせました。



ちびっこレスキュー体験の様子



来場者へ風船配布の様子

消防人に栄えある受章

平成30年度の消防定例表彰が各関係機関から授与されました。この受章は永年、消防・防災活動に従事され、地域防災の発展と住民の生命・身体・財産の保全に尽くされた功績が高く評価されたものであります。今後、さらに消防職団員が地域の方と連携し防災活動に尽力されますよう期待します。

平成30年度の受章者は次のとおりです。

(勤続章は20年以上、順不同、敬称略)

◎平成30年春の叙勲

瑞宝単光章〈1名〉

元鶴居消防団 分団長 宮崎 昭夫



宮崎昭夫氏 左から2番目

◎平成30年秋の叙勲

瑞宝単光章〈1名〉

元鶴居消防団 分団長 遠藤 諭



遠藤 諭氏 左から2番目

◎消防庁長官表彰

表彰旗〈2団〉

標茶消防団

鶴居消防団

永年勤続功労章〈2名〉

標茶消防団 副団長 蛭名 嘉章

鶴居消防団 分団長 菊地 哲男

◎北海道知事表彰

勤続章30年〈3名〉

弟子屈消防団 班長 村山 克久

川湯消防団 部長 佐野 克彦

標茶消防団 団員 佐藤 国芳

勤続章20年〈11名〉

弟子屈消防団 班長 渡辺 浩彦

弟子屈消防団 団員 大宮 正博

川湯消防団 部長 澤森 正弘

川湯消防団 班長 成田 哲也

標茶消防団 部長 木下 徹

標茶消防団 部長 鎌仲 貴之

標茶消防団 部長 菊地 映司

標茶消防団 部長 高橋 盛也

標茶消防団 班長 佐藤 紀寿

標茶消防団 団員 藤川 秀樹

鶴居消防団 団員 齊藤 和弘

◎日本消防協会長表彰

功績章〈1名〉

鶴居消防団 副団長 松井 廣道

精績章〈1名〉

鶴居消防団 副団長 小野寺正幸

勤続章〈7名〉

弟子屈消防団 班長 村山 克久

弟子屈消防団 団員 高橋 幸一

弟子屈消防団 団員 深井 直実

川湯消防団 部長 佐野 克彦

標茶消防団 団員 佐藤 国芳

鶴居消防団 分団長 菊地 哲男

鶴居消防団 部長 吉田 剛

◎北海道消防協会長表彰

特別功績章〈6名〉

弟子屈消防団 部長 益子 孝秀

標茶消防団 団長 田中 純一

標茶消防団 分団長 高平 敏夫

標茶消防団 部長 遠藤 好幸

鶴居消防団 副団長 小野寺正幸

鶴居消防団 団員 高橋 直孝

功績章〈7名〉

弟子屈消防団 部長 中澤 高行

川湯消防団 分団長 松田 弘行

川湯消防団 副分団長 栗田 康則

標茶消防団 副団長 蛭名 嘉章

標茶消防団 部長 遠藤 好幸

鶴居消防団 部長 今野 勇

弟子屈消防署 消防司令 鈴木 浩

勤続章30年〈4名〉

標茶消防団 分団長 島山 雅之

標茶消防団 副分団長 山林 幹雄

標茶消防団 副分団長 澁谷弘一郎

標茶消防団 部長 遠藤 昭

勤続章20年〈11名〉

弟子屈消防団 班長 松田 豊

弟子屈消防団 団員 大宮 正博

川湯消防団 部長 澤森 正弘

川湯消防団 班長 成田 哲也

標茶消防団 部長 木下 徹

標茶消防団 班長 佐藤 紀寿

標茶消防団 班長 伊藤 正和

標茶消防団 班長 武山 幸男

鶴居消防団 分団長 加藤 由治

鶴居消防団 班長 遠藤 範幸

鶴居消防団 団員 野田 秀次

◎消防協会釧路地方支部長表彰

勤続章45年〈1名〉

川湯消防団 団長 濱岡 正次

勤続章35年〈4名〉

標茶消防団 副団長 蛭名 嘉章

標茶消防団 分団長 藤原 利洋

標茶消防団 部長 森田 泰彦

鶴居消防団 部長 澁谷 忠裕

勤続章25年〈2名〉

標茶消防団 部長 鈴木 重充

鶴居消防団 団員 竹内 智春

勤続章15年〈6名〉

弟子屈消防団 団員 早勢 翔太

川湯消防団 団員 金子 高志

標茶消防団 班長 気仙 昌樹

鶴居消防団 副分団長 片渕 幸雄

鶴居消防団 団員 三浦 治久

鶴居消防団 団員 伊豆原泰平

◎釧路北部消防事務組合長表彰

勤続章50年〈1名〉

標茶消防団 部長 村上 好明

勤続章40年〈6名〉

弟子屈消防団 部長 益子 孝秀

標茶消防団 団長 田中 純一

標茶消防団 分団長 高平 敏夫

標茶消防団 部長 遠藤 好幸

鶴居消防団 副団長 小野寺正幸

鶴居消防団 団員 高橋 直孝

勤続章30年〈4名〉

標茶消防団 分団長 島山 雅之

標茶消防団 副分団長 山林 幹雄

標茶消防団 副分団長 澁谷弘一郎

標茶消防団 部長 遠藤 昭

勤続章20年〈8名〉

弟子屈消防団 班長 松田 豊

川湯消防団 部長 澤森 正弘

川湯消防団 班長 成田 哲也

標茶消防団 部長 木下 徹

標茶消防団 班長 佐藤 紀寿

標茶消防団 班長 伊藤 正和

標茶消防団 班長 武山 幸男

鶴居消防団 班長 遠藤 範幸

梯子登梯隊員15年〈2名〉

標茶消防団 部長 倉内 秀和

川湯消防団 部長 澤森 正弘

皆勤10年〈2名〉

標茶消防団 分団長 高平 敏夫

標茶消防団 分団長 島山 雅之